



南山大学 (愛知県)



高度な日本語能力を身に付け日本社会への理解を深めるプログラム

■大学紹介

① 大学の特色及び概要

1) 特色と歴史

南山大学は1949年に設立され、8学部17学科、大学院5研究科12専攻(うち、1専攻は専門職大学院)の他、3研究所、9研究センターをもつ総合大学である。

中部地方唯一の男女共学カトリック校であり、「人間の尊厳のために」を教育のモットーとし、世界から選ばれる大学、世界に人材を輩出できる大学を目指した教育を行っている。

(2018年5月1日現在)

2) 教員・学生数等

○専任教員数 352名 非常勤講師数 434名

○学部・学生数等

学生数 9,751名

(内訳：学部生 9,564名 大学院生 187名)

うち、外国人留学生数 127名

(内訳：学部生 99名 大学院生 28名)

外国人留学生別科生 124名

○学部・大学院研究科

学部：人文学部・外国語学部・経済学部
経営学部・法学部・総合政策学部
理工学部・国際教養学部

大学院：人間文化研究科・国際地域文化研究科
社会科学研究科・法務研究科
理工学研究科

② 国際交流の実績

海外協定校数 87校+1団体 (2017年度)

派遣交換留学生数 129名 (2017年度)

受入交換留学生数 63名 (2018年春学期)

③ 過去3年間の受入れ留学生数及び日本語・日本文化研修留学生(日研生)の受入れ実績

2018年：留学生数 127人
外国人留学生別科生数 124名
日研生 2人

2017年：留学生数 119人
外国人留学生別科生数 107名
日研生 2人

2016年：留学生数 136人
外国人留学生別科生数 117名
日研生 1人



④ 地域の特徴

- [1] 東京や大阪、京都など日本の主要都市へ行くのに便利。
- [2] 日本で4番目に人口の多い都市だが、東京や大阪比べ生活費が安い。
- [3] 都会にいながら窮屈ではなく、文化的施設や娯楽を楽しむことができる。
- [4] 自然に囲まれ、少し足を伸ばせば、すぐに海や山を見られる。
- [5] 自動車や航空産業など世界を代表する企業が集積。

■コースの概要

① 研修目的

日本語能力の向上のための研修を主とし、補助的な日本事情・日本文化に関する研修を行うもの。

② コースの特色

コース名：外国人留学生別科
(Center for Japanese Studies)

コースの特色：

[1] 日本語コースでは、6段階(I-VI)のレベル別コースを用意し、各学生の日本語能力にあった学習が可能で、読む・書く・聴く・話すの4技能の各習熟度の違いにも対応する。

[2] 将来のキャリア形成に役立つ各種日本語セミナー、日本の文化・社会・経済等について英語による講義科目を設置し、単に日本語を学ぶということに留まらず、将来、研究や仕事に必要とされる日本語能力の向上や日本に対する理解を深めることをねらいとする。

[3] 書道や華道等芸術科目を通じて「日本」についての基礎的・専門的知識の習得を目指す。

[4] その他

各種フィールドトリップへの参加や交流スペースである多文化交流ラウンジ、学生TAによる日本語学習サポート(ジャパンプラザ)の利用により、日本人学生との交流を図りながら、授業以外の大学生活の中で、日本を学ぶことも重視している。

③ 受入定員

120名（大使館推薦 5名、大学推薦 1名）

④ 受講希望者の資格、条件等

- (i) 日本語・日本文化に関係する分野を専攻する者、または他の専攻分野でも日本語履修に意欲のある者。
- (ii) 在籍する大学での成績がB(4ポイント方式で3.0)以上であること。

⑤ 達成目標

高い日本語運用能力を備えると同時に日本文化を深く理解するために、日本語集中コースおよびその他の講義科目、芸術科目を開講している。日本に関する様々な領域の科目を受講することで、世界で起きている問題に対し、批判的視点で捉え、自らの意見を発信できるようになることを目標としている。

⑥ 研修期間

2019年 9月9日 ~ 2020年 5月19日

秋学期 2019年 9月9日~12月18日

春学期 2020年 1月14日~ 5月19日

修了式 2020年5月18日を予定

(2018年度の修了式は2019年5月18日に実施)



⑦ 研修科目の概要・特色

1) 必須科目

選択必修科目（8単位。各学期合計240時間）

- 日本語Ⅰ：日本語の重要基礎文法を定着させる。4技能をバランスよく伸ばし、日常生活の諸場面でも対応できる力を身につける。
- 日本語Ⅱ：日本語の基礎力を更に向上させ、長文読解も導入する。
- 日本語Ⅲ：上級の日本語コースへの準備。生教材の読解・論理的な文章の作成・討論等も行う。
- 日本語Ⅳ：語彙や表現力を伸ばし、更なる日本語4技能の充実を目指す。
- 日本語Ⅴ：日本語4技能の完成に加え、目的別の高度な日本語を身につける。専門書の読解、小論文作成なども行う。
- 日本語Ⅵ：集中日本語Ⅴを終えた学生のためのクラス。学生の主専攻分野を含む様々な学術領域の読み物を教材とし討論を行う。

2) 見学、地域交流等の参加型科目

インターンシッププログラム等の参加型日本語セミナー科目(2科目)開講している。社会で通用する日本語を実践するため、履修者のうち数名を対象に職業体験プログラムを行う。また、フィールドワークリサーチやボランティアリングの授業も開講する。

3) 修了研究の内容

修了研究は課されていない。

4) 日本人学生との共修の機会

- オープン科目（学部授業への別科生乗り入れ登録可能科目、各2単位）が開講されている。
- Japanese Society and Law
- Seminar in American History
 - [Special Seminar An introduction of the Special Studies Latin America]
- Special Seminar [Intercultural Competence]
- Special Seminar
 - [Media Literacy in the Digital Age]

5) その他の講義、選択科目等

- (i) 日本語セミナー科目（各2単位）
初級・中級翻訳、講読（科学技術）、講読（社会科学）、ボランティアのための日本語、創作作文、ビジネス日本語、旅行業日本語、講読（日本文学）、古文、外国語としての日本語教授法入門、学術日本語作文、大学進学準備日本語 など
- (ii) 日本研究関連講義科目（英語による講義、各3単位）
日本の文学、日本語学トピック、日本の文化、日本のポップカルチャー、日本文化と芸術、日本の宗教、日本の歴史*、日本の社会*、日本の経済、日本の経営*、日本の政治、日本の外交*など
*一部、学部学生の乗り入れ登録可能科目あり
- (iii) 芸術科目（各2単位）
華道、書道、版画、茶道、踊り



⑧ 年間行事・年間スケジュール

秋学期

- 9月上旬： 渡日
9月： 入学式、オリエンテーション
クラス分けテスト
ウェルカムパーティー
10月： フィールドトリップ
11月： 大学祭、フィールドトリップ、
CJSフェスタ
12月： 期末試験、フェアウェルパーティー
12月下旬： 帰国

春学期

- 1月上旬： 渡日
1月： 入学式、オリエンテーション
クラス分けテスト
ウェルカムパーティー
フィールドトリップ
2月： フィールドトリップ
3月： フィールドトリップ
4月： フィールドトリップ
5月： 期末試験、修了式・修了パーティー
5月下旬： 帰国

○フィールドトリップ：

歌舞伎鑑賞、トヨタ自動車工場見学、学部学生との交流バス旅行等を実施する。

⑨ 指導体制

- 星野 昌裕
(国際センター長)
ロバート・クロッカー
(別科ディレクター
国際センター副センター長
別科教学[日本事情科目] 担当)
六川 雅彦
(別科教学[日本語]担当)
マーク・ブレマー
(別科学生生活担当)

日本語コース担当

専任教員：7名 非常勤教員：16名

⑩ コースの修了要件

原則として、1学期に日本語コース8単位を含む14単位から18単位を履修する。

連続して在学する2学期間において、選択必修科目(日本語科目)を含めた通算28単位以上を取得した者に対し、修了証を授与する。

単位認定：履修科目について試験のうえ、成績を判定し、単位を与える。

■宿 舎

①ホームステイ

日本人家庭で「家族の一員」として生活することにより、日常生活で使われる生きた日本語を学ぶことができる。

月額：60000円(朝夕2食含む)

②交流会館(大学寮)

日本人学生と共同生活を行う国際学生宿舎。

山里交流会館(男子寮)

月額 30,000円 大学から徒歩 5分

名古屋交流会館(女子寮)

月額 40,000円 大学から徒歩 1分

③国際留学生会館(外部寮)

名古屋国際センターが運営する留学生寮。

月額 20,000円

○過去3年間の日本語・日研生の宿舎入居状況

2018年度受入2名：国際留学生会館(2名)

2017年度受入2名：国際留学生会館(2名)

2016年度受入1名：名古屋交流会館(1名)



■修了生へのフォローアップ

留学生同窓会

留学生同窓会Facebookで情報発信を行い、年に2回ニュースレターをWebページで発行する。



■問合せ先

<担当部署>

南山大学国際センター事務室

住所： 〒466-8673
愛知県名古屋市山里町18

TEL： +81-52-832-3123 (直通)

FAX： +81-52-832-5490

Email： cjs-office@ic.nanzan-u.ac.jp

<ウェブサイト>

<http://www.nanzan-u.ac.jp/>